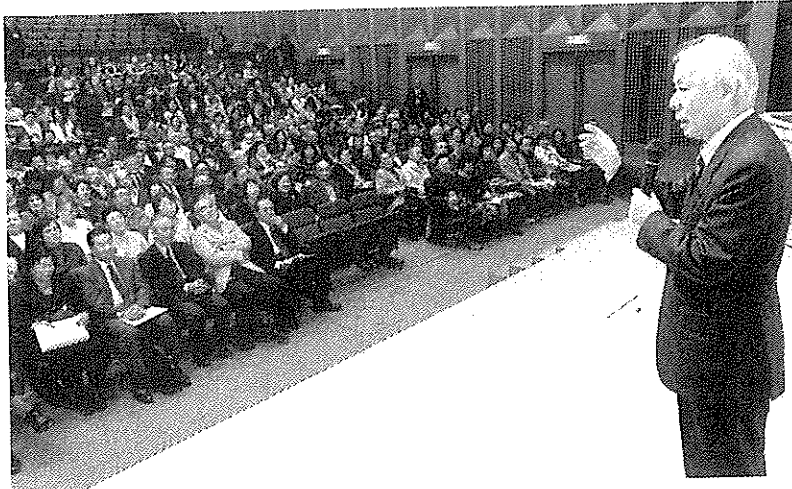


平和構築へ 公明の役割重要

京都市で文化フォーラム開催 小川和久氏が講演



公明党京都府本部（竹内 譲代表＝衆院議員）は23日 夜、京都市南区内で文化フォーラムを開催し、小川和

文化フォーラムで講演する小川氏＝23日 京都市

久・静岡県立大学グローバル地域センター特任教授が「日本の平和と公明党の役割」をテーマに講演した。

初めに竹内氏は「平和安全法制の整備は、日米同盟を強化して日本を守るためであり、戦争を防止することにつながる」と訴えた。

小川氏は、「政府が国民に問うべきことは、国家国民の安全を守るための選択肢として、同盟関係を選ぶか武装中立を選ぶかという

ことだ」と指摘。日米同盟の場合、年間約5兆円の防衛費で世界最高水準の安全を保っているのに対し、日米同盟を解消して武装中立で日本の安全を独自で実現するには年間約23兆円が必要になるとの見解を表明。

さらに、小川氏は「自衛隊は外国に攻めていくような戦力を持っていない」とし、「戦争ができる国になる」との批判は当たらないと述べ、「公明党の皆さんがこうした事実を理解して幅広く語っていくことが重要だ」と呼び掛けた。